
世界と動き 人は世界に強さを求め

刹那

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界と動き 人は世界に強さを求め

【Nコード】

N8104N

【作者名】

刹那

【あらすじ】

好きな人を亡くした少年の奇跡の物語。

（前書き）

第八回、思いつき余興小説。
幽霊とかでできますがきにせず読んでください。

世界に乗り遅れていた。

俺は動いていなかった。

世界は止まることなく動き続け、俺はそれに乗り遅れた。

自分の世界を創り、その中に逃げ込んでいた。

全く、今思えばバカな事だった。

世界はしつかり俺を乗せて動いていた。

ただ俺はそれに気付いていなかったただけなんだ。

周りの景色を見ようとしていなかったんだ。

自分ばかり見ていた。

ホントにバカだった。

俺がもつとしつかりと世界の景色を見ていたら。

皐月さつきは死なずに済んだのに。

多分、今の俺の顔を見たらお前は思いっきりぶん殴るんだろうな

。

.....

そんな情けねえ面つらすんなって言ってな。

一人称が‘俺’で、ヤンキーで、ツンデレで。

でもどこことなく少女って感じがして。

そして俺が世界の上で一緒に動いているんだって教えてくれた。

最初は無視ばっかされて、その内文句を言ってくるようになって、いつの間にか笑い合える仲になっていった。

そして恋に落ちてしまった。

見事なまでに玉砕されちゃったけどさ（要はフラれたって意味）。それでも今まで通りの態度を取ってくれた皐月に感謝した。

そして現在、皐月の墓の前にいる訳で。

また明日、来るからな！

菊の花束持つてくるから期待しとけよ。

俺は頬を伝う涙を拭ってから墓に背を向けた。

すると目の前に見覚えのある顔が……。

「なんて顔してんだ！ うつとうしい。蹴り飛ばすぞ」

「皐月……？」

「俺以外の誰が居るってんだ。ああ！！ もうウザイ」

皐月は右手で拳を作り振り上げた。

俺はきつくしっかりと目を瞑った。

だがその拳は俺の頬を捉えずに通り返けた。

「くそ！ こんな体じゃなかったら思いっきりぶん殴ってやれたのによ……！！」

「皐月……」

「さよならの挨拶ぐらい声出して言えや！ それに泣くな。情けねえ」

「ああ……」

「ほら早く……!」

皐月は片手で自分の眠る墓を指差した。

俺はいきなりの事態に戸惑いながらも墓に向き直る。

「えっとその……また明日な」

「ああ! また明日な」

背後から皐月の声がした。

振り返った頃にはそこに皐月の姿はなかった。

死んでんのに這い出てくるってどうよ?

まあ、俺は嬉しかったけど。

だからとりあえず……。

「ありがとう。皐月」

これだけ言っところ。

世界は動き続けている。

俺や皐月、他の人たち、いろんな存在を乗せて動いている。

俺だけ一人……なんてのは勝手な思い込みなんだ。

周りを見る。

動き続ける限り孤独はあり得ない。

ただ

そこから世界の動きに反するようになり、世界より遅かれ速かれ動いてみたりすることだ

人は成長していく。

皇月。俺は……。

「お前は十分強くなったよ」

不意に声が届く。

だが俺は振り返らない。

その声の正体を誰か知っているから。

だから

俺は

世界と一緒に動いていられる。

END

（後書き）

意味不明かもしれませんが。

すいません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8104n/>

世界と動き 人は世界に強さを求め

2010年10月10日15時22分発行